～元気の出るエピソード～

O様と最初にお会いした時、お元気でよく笑う方という印象でした。ご一緒していく中で、O様の不思議な力に気付くことになりました。

送迎車内では、「運転手さん、いつもこんなところまでありがとう！もう悪いから家帰らなくていいよ！俺このまま乗ってる！」とそのユーモアある発言で、同乗される全ての方の笑顔を引き出してくださいました。笑う皆様を見て、O様も本当に嬉しそうでした。

帰宅願望が強く、落ち着かれない利用者様に「どうした？困ったことあるか？」とO様がお話をきいてくださると、少しずつ落ち着かれ、今ではレクなどの活動に参加できるようになった方もいます。

O様の奥様からは、自治会長をしていた時から、『自分のことより他人のことが大事な人』とお聞きし、O様の想いを知ることが出来ました。これからも、誰かのために懸命になるO様の支えになれたらと思います。

デイケア主任　柳　綾子

診もり短歌

～コロナ禍やや下火に～

コロナ禍はやや下火になりて
さくら咲く穏やかな日がもどる兆しか

Drねぎし

外来案内

診療科目		月	火	水	木	金	土・日
午前	認知症外来	鈴木	脇山	脇山	鈴木	鈴木・脇山	休診
		非常勤医師		非常勤医師（4/12、4/26のみ）			
	一般内科	窪山・丸山	丸山	窪山	窪山・丸山	窪山	
午後(新患のみ)		※適宜対応	※適宜対応	※適宜対応	※適宜対応	※適宜対応	

※内科受診に関しては、他院での受診をお願いさせていただく場合がございます。

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	
8：45～11：30	13:00～15:00	9：00～12：00	14:00～17:00	平日　月～金（祝日は除く） 15:30-15:40　2階病棟 15:45-15:55　3階病棟

※通常・オンライン面会のどちらも行っております

病院方針

- 身体拘束は原則おこないません
- 薬物は適正に使用します
- 言語的抑制を最小限にします
- 地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～
お電話での予約が必要になります
・紹介状
・お薬手帳をご持参ください。
予約時間の変更等につきましては、
１３時以降に外来にお電話下さい
〇休診日〇
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 認知症カフェ
毎月第一土曜日
10：00～12：0
はすカフェ
蓮田よつば病院　１Ｆフロアにて実施

蓮田よつば病院　当院は認知症専門の病院です
〒349－0114　埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048－765－7777

医療法人社団　心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話：048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば

医療法人社団　心の絆
認知症専門病院　蓮田よつば病院
携帯からも当院のホームページにアクセスできます→
私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくります

よつば通信 4月号

発行日　令和 5年 4月 1日

新年度のご挨拶

陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年度を迎え、気持ち新たにスタートいたします。特に、今年度は長くコロナ禍において日常生活や社会生活が大きく制限されていたことが解除され、コロナ禍前の生活に近い雰囲気で桜の季節を迎えることができることに心より嬉しく思っております。

患者様、家族様、地域の皆様に、面会制限やマスク着用や手指消毒の徹底等の感染拡大予防対策へのご協力等、多くのご協力をいただきましたが、当院におきましても制限の緩和を行うと同時に、引き続きのご協力をお願いさせていただくことがございますが、何卒ご理解いただけましたら幸いに存じます。

新年度を迎え、気持ち新たに『大切な人にすすめられる病院をつくります』という理念のもと、新しい認知症の治療、ケア、そして認知症予防への取り組み等、認知症があってもその人らしく生活していける地域づくり、明日への希望を持て、今日より明日が少しでも心が軽くなるよう皆様が安心して生活できるよう取組んで参りたいと思っております。

QOL推進部部長　稲橋秀樹

～ よつばご飯 ～

献立
主食：雛そば（さくらそば）
副菜：胡瓜と春雨の梅サラダ
副菜：海老しんじょの銀あんかけ
デザート：抹茶水ようかん

※写真は職員食になります。

栄養価
エネルギー：550kcal
たんぱく質：18.2g
脂質：5.8g
炭水化物：97.1g
塩分：6.1g

華やかな食事を目の前にすれば、人は感動を得るかと思います。その感動が刺激となり、認知症の治療に少しでもつながればと思い、ひな祭りの日には華やかな桜のお蕎麦を提供させて頂きました。蕎麦の具には柔らかい蒸しあなごを甘辛く調味して乗せています。そして、季節を感じられるよう菜の花や海老も使い、おやつにはひなあられを提供させていただきました。

管理栄養士　水野俊

看護部の取り組み

「気づき力を高める」

当院の方針として「身体拘束は原則行わない」「薬物は適正に使用します」とあります。
方針自体の言葉に目が行きがちであるが、大切なのはその内容です。
患者様は様々な症状を抱えており、その症状のほとんどが行動を制限する行為では解決しないことが多いです。私たち職員は一人ひとりの行動や言葉と向き合い、相手が何を望み、何を必要としているか常に考え、心に寄り添いながら症状の改善を目指します。
認知症には様々な型がありますが、共通して現れる症状として中核症状（物忘れ、段取りがうまくできない、電化製品がうまく使えなくなる、etc）があります。この症状にご本人の性格や素質、環境の変化や人とのかかわりなどが影響することで行動心理症状が出現します。行動心理症状は怒りや抵抗、一人歩きなど生活していく上での「困りごと」として現れます。
しかし、突然現れるわけではなく、過程には何らかのサインが出現します。そのサインに気付き見逃さないために全職員がチームとなって患者様に関わり気づき力を高めることで、患者様の生活しやすい環境の提供が可能となり、同時に介護負担の軽減にもつながります。
例）「食事がうまく食べられない」
・視野が狭くなっているかも…食器の位置を変えてみる。
・黄色や白いものは見えにくいかも…黒い器に移し替える。
・食べ方がわからないのかも…スプーンや箸を手に持たせ食べるきっかけを作る。
・食事に集中できないかも…テレビを消す。座席に配慮する。
・複数のことが同時にできないのかも…1プレートで提供してみる。

なぜそうなってしまっているのかを常に考え続け、どの対応がその方に適しているのか見つけることで行動心理症状の出現を最低限にしていきたいと思います。
そのためには2月号に掲載した「見守り」と今月号の「気づき力」が大切で、認知症の看護・介護はその方に合った環境を提供することが必要であると考えます。

3階病棟介護係長　認知症ケア専門士　畠山　英紀

職員紹介

こんにちは。以前にも蓮田よつば病院の3階病棟に勤務しておりました、熊谷和代です。ご縁があり、今回は2階病棟にて昨年9月より勤務しております。日々患者様から学ばせていただくことが多く、認知症看護のスキルアップの必要性を強く感じております。
今までの経験も活かしつつ、患者様のために日々精進していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2階病棟　看護師　熊谷和代

放射線技師の取り組み

当院の放射線科では、患者様のご入院時のスクリーニングや、健診などでレントゲン検査を行っております。主に胸部や腹部を撮影しますが、必要に応じて全身の撮影が可能です。肺の状態や腸内のガス、骨折の有無などが分かります。検査時間は部位によって異なりますが、数十秒～数分で終わるとても簡便な検査です。
検査を迅速かつ正確に行うには、患者様のご協力が必要不可欠です。
お写真がブレてしまうため、検査中は喋ったり、お身体を動かさないようお願いいたします。機械の形状がやや特殊で、不安を感じてしまう方もいらっしゃいますが、痛みもありませんし、検査のプロである放射線技師が患者様のすぐそばにおりますので、どうぞご安心ください。
今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

放射線技師　山崎　章太

～よつば訪問看護リハビリステーション～

訪問看護に携わり、時々ご利用者様やご家族から「こんなこともやってくれるのね！」と話を伺うことがあります。そこで今回は、訪問看護師の役割と仕事内容を簡単ですがご紹介したいと思います。
・健康状態のチェック（症状や血圧や体温のチェックなど）
・医療処置（点滴・注射、傷や床ずれの処置、在宅酸素療法の管理など）
・病状悪化の防止やリハビリ（寝たきり予防のケア、肺炎などの予防など）
・ターミナルケア（看取りの看護のケア）
・療養生活のお世話（シャワーや入浴などの清潔ケア、栄養管理、排せつ管理など）
その他、ご利用者様の心理的ケアやご家族の相談にのったり、医師・薬剤師・ケアマネージャー・ヘルパーなど多職種間の調整役を務めたりと、幅広い役割を担います。
私たち訪問看護師は、在宅生活を安心して過ごすことを目標にご利用者様とご家族の希望に寄り添い、これからも援助していきたいと思います。

よつば訪問看護ステーション看護師　　田島亜紀

～よつば病院作業療法風景～

ボウリング

ひな祭り

今月の予定

〇誕生会　　2階・3階病棟
　　随時おこないます
〇認知症予防教室
　4月26日（土）10時～11時30分

5月以降については
〇はすカフェ
　第2土曜日10時～12時
〇認知症予防教室
　第4土曜日10時～11時30分